

平成24年行政事業レビューシート

(環境省)

事業名	国立公園管理計画等策定調査費		担当部局庁	自然環境局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度		担当課室	国立公園課		課長 桂川 裕樹	
会計区分	一般会計		施策名	5-2 自然環境の保全・再生			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	自然公園法第10条第2・3項、第20条第3項、第21条第3項		関係する計画、通知等	国立公園管理計画作成要領(平成18年4月20日 環境省自然環境局長通知)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国立公園を取り巻く自然条件、社会条件は多種多様であるため、一つの国立公園であっても、地域毎に様々な保護又は利用上の課題を抱えている。このため各国立公園を地域区分し(管理計画区)、それぞれの自然的社会的条件を踏まえ、検討会により地域の合意を形成しながら、風致景観の保護と適正な利用を推進するために必要な事項やその具体的な取扱方針、許認可の基準等について定めた「管理計画」や個別の問題点ごとにその解決のための「管理方針」を作成する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	平成23年度は、白山国立公園など合計8地区において管理計画等策定、合計3地区において管理方針検討のための調査、検討会、とりまとめ等を実施した。 平成24年度は、尾瀬国立公園など合計12地区において管理計画の策定作業、火山噴火により早急に今後の管理方針を策定する必要がある新燃岳など合計3地区において管理方針検討調査を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算	14	13	13	9	7
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
	計	14	13	13	9	7	
	執行額	10	10	11			
執行率(%)	72	83	84				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	適切な管理計画等の策定により公園の管理の質を高める。 公園ごとに自然的・社会的状況が異なることから、定量的に目標値を定めることはできない。	成果実績	—	—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	年間10数地区において管理計画、管理方針を策定	活動実績(当初見込み)	地区	13	19 (14)	11 (12)	— (15)
単位当たりコスト	活動実績としては上記のとおりであるが、本計画、方針の策定は、課題等を踏まえ検討を行いながら策定することを目的としており、単位当たりのコストを算出するのはなじまない。		算出根拠	—			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	1.3	0.8				
	委員等旅費	1.1	0.6				
	国立公園等調査管理委託費	6.4	5.5				
	計	8.8	6.9				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	国立公園の管理計画、管理方針を策定するものであり、国が実施をしている。国立公園の管理は自然公園法に基づき環境大臣が行うものであり、国が実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	一般競争入札を原則として支出先を選定しており、支出先の選定は適正。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	成果物に基づき、国立公園の管理が適切に行われており、また、策定した成果物は公表されることから十分に活用されている。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成23年度においては、予算監視・効率化チームの指摘を踏まえ、事業内容を精査して予算額を節減して事業を実施した。本事業は、自然公園法に基づき、各国立公園における許可基準の細部の取り扱い等について、国として作成しているもので、国立公園の円滑な管理のみならず国民に必要な事項を示すことができるため、事業を継続して実施する必要がある。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	より優先度の高い地域に限定して事業実施をすることにより、予算額の節減をすべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	会議の開催及び調査の回数を削減すること等により、概算要求額を減額。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	308	平成23年行政事業レビュー	191



**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を  
 行っているか  
 について補足  
 する) (単  
 位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.(株)ライブ環境計画					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	技師等	1			
その他	調査旅費、印刷製本費、一般管理費等	1			
計		2	計		
B.(株)メッツ研究所					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	技師等	1			
旅費	調査旅費	1			
その他	印刷製本費、一般管理費等	2			
計		4	計		
C.					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		
D.					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		

支出先上位10者リスト

A.北海道地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ライブ環境計画	苔の洞門周辺地域保全のあり方調査(管理方針検討委託業務)	2	参加型確認公募	—

B.九州地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)メッツ研究所	雲仙温泉・仁田峠自動車利用適正化方針検討調査業務	4	企画競争	—
2	日本工営(株)	霧島屋久国立公園霧島地域における管理方針検討業務	3	企画競争	—
3	特定非営利活動法人日本海ガ メ協議会	西表石垣国立公園黒島安全利用推進事業委託業務	2	10	76.3%